

# 豆炭コタツ

ご使用前に必ずこの注意事項をお読みください。  
 なお、お読みいただいた後は大切に保管し

**警告**

**使用を誤ると一酸化炭素中毒を起こします。**

- コタツにもぐらないでください。
- コタツに入ったまま寝込まないでください。
- 乳幼児、病人、お年寄りの方等をコタツに寝かせないでください。
- 1時間に1回程度こまめな換気をしてください。
- 風通りの悪いところでは使用しないでください。
- ガラスマットは1~2年毎に新しいものに交換してください。

**やけどに注意!**

- 燃焼器中具の出し入れの際「素手」でさわらないでください。付属の「とって」をご使用ください。
- 防熱カバーに、直接肌を長時間ふれていると低温やけどをすることがあります。
- 特に乳幼児、病人、お年寄りの方等がご使用の場合、使用温度に十分ご注意ください。

**火災に注意!**

- 燃焼器中具の止金が完全に掛かっていることを確認し、防熱カバー内に正しくセットし、防熱カバーの開閉ツマミをきちんと閉めてください。
- 燃焼器中具だけで使用しないでください。(コタツ以外に使用しないでください。)
- 豆炭コタツ内で、他の暖房器具との併用は絶対にしないでください。
- コタツ内部、特に燃焼器のそばには、熱に弱い塩化ビニール系、ポリプロピレン系の毛布を敷いたり、貼りつけたり、ゴム系のマットの上に燃焼器を置いたりしないでください。コタツ内部に衣類等をいれないでください。
- 残り火や灰は、完全に消火していることを確認し、各市町村の条例に従い処分してください。
- 長時間留守にされる場合や夜おやすみの際は、必ず温度調節レバーを全閉にしてください。
- 燃焼器中具の調節レバーを持っての出し入れをしないでください。調節レバーが折れることがあります。

**使用上、保管上の注意**

- 灰を捨てる時は、燃焼器中具のガラスマット(耐熱ガラス繊維)を火ばし等で痛めないでください。マメタンの温度が上がり過ぎたり、立ち消えの原因となります。
- ヤグラに腰かけたり、上に乗ったりしないでください。
- ヤグラの脚を止めるネジを十分に締めてください。
- シーズンオフ等でお使いにならないときは、燃焼器中具を風通しの良い乾燥した所に保管してください。
- 図のような使い方は絶対にしないでください。

燃焼器が反射板に完全に取り付けてなかったり  
 燃焼器中具を風通しの良い乾燥した所に保管してください。  
 燃焼器をはずして下に置いたり  
 ふとん類をやぐらの中に入れたり  
 洗濯物や他の暖房器具をコタツの中に入れたり  
 やぐらを逆にしたり  
 やぐらを横倒しにしたり  
 コタツに寝たり、もぐりこんだり  
 脚を取りはずしたり  
 コタツに乗ったり、腰かけたり

## 豆炭コタツの上手な使い方

**1** 脚をヤグラにゆるみの無いように、しっかりとねじ込んでください。

**2** ◎ミツウロコマメタンのご使用をおすすめします。  
 初めて豆炭コタツをご使用になる場合、寒冷地では9コ、その他の地区では6~7コのマメタンを目安に以後はお宅の適温に個数を加減してお使いください。マメタンの他に、スーパーマメタンを2~3コ一緒に使えば、着火が速く、簡単に出来ます。マメタンの片面、または半分(1/2)程度赤くなるまで燃焼させてください。過度の燃焼は空気の供給不足となり、立ち消えの原因となります。

■スーパーマメタンはマッチで着火OK  
 スーパーマメタンを1~3個を火起し器に入れ、マッチや着火ライターで着火します。着火後、回りのマメタンに火が着いたら燃焼器中具に入れてください。早く暖まります。

■マメタンのみ使用の場合  
 マメタンを火起し器に入れ、木炭コンロやガス等で着火後、燃焼器中具に入れてください。着火に多少の時間はかかりますが、長時間保温が保ちます。

**3** 着火したマメタンを燃焼器中具に入れたら、止め金具を確実に止め、付属品のとってを使って、コタツ本体の中に水平に収納してください。

**4** 燃焼器中具

**5** 燃焼器中具を防熱カバー内に正しく収納した後、扉を元通りしっかり開けてからお使いください。

**6** 燃焼の途中で消火する場合は燃焼器中具を取り出し、水を入れた金属のバケツ等の容器に、マメタンを入れ、完全に消火してください。またはマメタンが完全燃焼するまでご使用ください。

**7** 灰を捨てる時は、燃焼器中具のガラスマット(耐熱ガラス繊維)を火ばし等で痛めないでください。マメタンの温度が上がり過ぎたり、立ち消えの原因となります。また、灰の処分は各市町村の条例に従い処分してください。

**ご使用にあたってのお願い**

- コタツ内部にもぐりこんだり、コタツに入ったまま寝込まないでください。(猫などのペットも、長時間内部に入っていると酸欠状態になります。ご注意ください。)
- コタツを長時間お使いにならないときや、シーズンオフ等でお仕舞いになる場合は、燃焼器中具の灰をきれいに捨て、元の通りに箱に収納して、湿気のない場所に置いてください。
- コタツ敷き、コタツ掛けは、厚めのものをご使用ください。塩化ビニール、ポリプロピレン、ゴムなどの素材は、熱に弱いとお使いにならないでください。
- 使い始めの際、燃焼器の塗料の臭いが若干する場合がありますが、2~3回で臭いは消えますのでご容赦ください。
- ガラスマットは1~2年間使用されましたら、新しいものに交換してください。

ガラスマット

**株式会社ミツウロコヴェッセル**  
 〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン8F  
**【お客様相談室】**  
 ☎フリーコール 0800-100-3265  
 受付時間 平日 9:00~17:00